

## 購入文献解題

『中華大藏経（漢文部分）続編：漢傳注疏部』（全 12 冊）

編集：中華大藏経編集委員会

出版社：中華書局

出版年：2020 年 7 月

解題：

本書シリーズは 1997 年に刊行された『中華大藏経（漢文部分）』に続くものである。本シリーズの所収文献の内容には、『中華大藏経（漢文部分）』未収の重要仏教典籍（各種版本の大藏経、敦煌文献、房山石経など）が含まれる。その中には古代の中国、チベット、朝鮮半島、日本、インド、東南アジアなどの地域の資料が収められている。このシリーズは中国における仏教の伝播史研究だけでなく、アジア全域における宗教、思想、哲学、歴史、言語などの交流の歴史を研究するための重要な基礎文献となる。歴史言語学の視点から見ると、『大藏経』シリーズ資料の「漢傳注疏部」は、書記言語としての中国語が古代の「文言体」から現代の「白話体」へと変化する過程およびその間に受けたサンスクリット語からの影響などを観察し、音韻、語彙、文字、文法、意味などの各言語要素の変化を追跡する上で重要な証拠発見につながる貴重な文献である。

（文責 彭国躍）